

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	国際交流活動推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	姉妹都市市民・外国籍市民・留学生・市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民、外国籍市民】		
	目的・目標		事業の概要
姉妹都市市民、外国籍市民、留学生、市民等が、交流会等を通じて、活発な交流が行われています。		自国の文化を高めるため、異文化を理解するとともに、市民主体の様々な交流事業を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流会等開催回数			単位	回
	説明・算定式	交流会開催、ホームステイ受入れ等回数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	4	4	4	4	
	実績	3	5	2		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	交流会等参加者数			単位	人
	説明・算定式	交流会参加者、ホームステイ受入れ人数等				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	200	200	200	200	
	実績	288	216	302		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	ホームステイの受け入れ体制は整えていたが、1回しか実施されなかったため				
平成25年度の主な取組と成果						
留学生や姉妹都市からの青少年派遣団等のホームステイの受け入れや市民交流会を開催し、多文化共生により自国の文化を高めるとともに異文化理解を深めました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国際化の進展に伴い、市民の国際理解と国際感覚の醸成のニーズが高まっており、異文化に身近にふれることができる当該事業の必要性は高いです。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多くの市民が参加し、異文化理解を深めるためにも、情報提供を幅広く行い、継続的に事業を行うことが必要です。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	国際化の進展に伴い、異文化理解を深めるためにも、多くの市民が手軽に参加することができる事業展開を行っているため、事業実施については妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市はサポート的なことを行い、事業は市民及び市民ボランティアにより実施しています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 国際交流事業に、より多くの市民が参加し異文化の理解が深まるよう、市民が主体となった様々な交流事業を行うことが必要です。また、ホームステイについては、ローレンス市民をはじめ他都市の方々も参加・利用しやすい環境の整備が課題と考えます。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		各種交流会の開催やホームステイ、20周年公式訪問団派遣事業の実施等	各種交流会の開催やホームステイの実施等	各種交流会の開催やホームステイの実施等、PR活動の強化	各種交流会の開催やホームステイの実施等、PR活動の強化
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,106	880	830	830
事業費 (A)		2,106	880	830	830
執行率 (%)		56.31	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.55	0.50	0.55	0.95
	再任用 (人)	0.35	0.40	0.40	0.00
人件費 (B)		5,634	5,369	5,733	7,423
フルコスト (A+B)		7,740	6,249	6,563	8,253

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 魅力ある国際交流事業や利用しやすいホームステイの環境整備について検討します。
課長コメント 多くの市民が国際理解と国際感覚の醸成を深めていくため、平塚市国際交流協会が展開する交流事業等を継続的に支援していきます。